

(0229500010-0)

市 長	副 市 長	建 設 部 長	財 政 課 長	主 管 課 長	課 長 補 佐	検 査 者	設 計 者
--------	-------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------	-------------

工 種	舗装工事	工事番号		設計年月日	令和 3 年 7 月 5 日
工 事 簡 所	富谷市 明石台 地内				
路 線 ・ 河 川 名	市道宮沢根白石線				
<p>令和 3 年度</p> <p>市道宮沢根白石線舗装修繕工事 (第 1 号)</p> <p>富谷市</p>					
工 期	令和 年 月 日	着 工 期 日	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日	竣 工 期 限	令和 年 月 日		
本 工 事 費	円 (消費税相当額 円)			工 事 価 格	円

(0229500010-0)

概 要

道路維持		
舗装工		— 式
路面切削工		— 式
舗装版切断 アスファルト舗装版	L = 780 m	
舗装版破碎 アスファルト舗装版	A = 5,310 m ²	
建設廃棄物処理費 世紀東急工業㈱ 仙台混合所 アスファルト塊	V = 477 m ³	
路上再生工		— 式
路上路盤再生工	A = 5,310 m ²	
舗装打換え工		— 式
表層 t = 50mm	A = 5,310 m ²	
基層 t = 50mm	A = 5,310 m ²	
区画線工		— 式
区画線工		— 式
区画線設置工 熔融式 実線 15cm	L = 1,710 m	
区画線設置工 熔融式 破線 15cm	L = 350 m	
区画線設置工 熔融式 セブラ 30cm	L = 13 m	
区画線設置工 熔融式 矢印・記号・文字 15cm換算	L = 110 m	

本 工 事 内 訳 表					
07:舗装工事					
費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
道路維持	式	1			
舗装工	式	1			
路面切削工	式	1			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	780			第1号単価表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下 積込有り	m ²	5,310			第2号単価表
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離1.5km以下	m ³	477			第3号単価表
建設廃棄物処理費 中間処理・再生資源化施設 仙台東 世紀東急工業㈱ 仙台混合所 アスファルト塊	m ³	477			
路上再生工	式	1			
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m ³ 未満	m ³	100			第4号単価表
土砂等運搬 標準 ハックホリ山積0.8m ³ (平積0.6m ³) DID区間有り 運搬距離14.0km以下	m ³	100			第5号単価表

富谷市

本 工 事 内 訳 表					
07:舗装工事					
費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
残土処分費	m ³	100			
路上路盤再生工 混合深さ20cm以下 養生工無し	m ²	5,310			第6号単価表
舗装打換え工	式	1			
表層(車道・路肩部) 3.0m超 50mm 各種(2.30以上2.40t/m ³ 未満)アスコン	m ²	5,310			第7号単価表
基層(車道・路肩部) 3.0m超 50mm 各種(2.20以上2.30t/m ³ 未満)アスコン	m ²	5,310			第8号単価表
区画線工	式	1			
区画線工	式	1			
区画線設置工(標準単価)溶融式 供用区間 実線 15cm 昼間施工 時間的制約なし	m	1,710			第9号単価表
区画線設置工(標準単価)溶融式 供用区間 破線 15cm 昼間施工 時間的制約なし	m	350			第10号単価表
区画線設置工(標準単価)溶融式 供用区間 セアラ 30cm 昼間施工 時間的制約なし	m	13			第11号単価表

富谷市

本 工 事 内 訳 表					
07:舗装工事					
費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線設置工(標準単価)溶融式 供用区間 矢印・記号・文字 15cm換算 昼間施工 時間の制約なし	m	110			第12号単価表
交通整理工	式	1			
交通誘導警備員	人				第1号明細表
直接工事費	式	1			
共通仮設費	式	1			
率計算分	式	1			
運搬費	式	1			第2号明細表
純工事費	式	1			
現場管理費	式	1			
率計算分	式	1			

富谷市

本 工 事 内 訳 表					
07:舗装工事					
費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事原価	式	1			
一般管理費等	式	1			
一般管理費	式	1			
率計算分	式	1			
契約保証費	式	1			
工事価格	式	1			
消費税等相当額	式	1			
本工事費	式	1			

富谷市

第1号 SPG4303010 J01		舗装版切断 1m当たり単価表				アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下 IV-3-③-1				
名称・規格・条件	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
コンクリートカッタ損料 ハキューム式・湿式 切削深20cm級 フレート径56cm	供用日									
特殊作業員	人									
土木一般世話役	人									
普通作業員	人									
コンクリートカッタ(フレート) 径22インチ	枚									
ガソリン レキユラー	L									
施工パッケージ単価	m		1							
合 計	m		1							
舗装版種別A = 01 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚B = 01 15cm以下				コンクリート舗装版厚C = 0 コンクリート+アスファルト(加)舗装版の全体厚 D = 0						

富谷市

第2号 SPG4302010 J01		舗装版破碎 1m 2 当たり単価表				アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下 積込有り IV-3-②-2				
名称・規格・条件	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
バックホ用アタッチメント損料 コンクリート圧砕装置(大割機) 開口幅735~850mm 破碎力550~980kN	供用日									
バックホ[油圧式・クローラ型] 0.35m3(0.45m3)	日									
運転手(特殊)	人									
普通作業員	人									
土木一般世話役	人									
軽油 ハットホ給油 1.2号	L									
施工パッケージ単価	m 2		1							
合 計	m 2		1							
舗装版種別A = 01 アスファルト舗装版 障害等の有無B = 01 無し 騒音振動対策C = 02 必要				舗装版厚D = 01 15cm以下 積込作業の有無F = 01 有り						

富谷市

第3号 SPG2225010 J02		殻運搬 1m3 当たり単価表			舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離1.5km以下 II-2-25-1		
名称・規格・条件	単位	数	量	単 価	金 額	雑	摘 要
ダンプトラック損料 オンロード・ディーゼルの 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	供用日						
運転手(一般)	人						
軽油 ハトロール給油 1.2号	L						
施工パッケージ単価	m3		1				
合 計	m3		1				
殻発生作業A = 02 舗装版破碎 積込工法区分B = 01 標準型・超低騒音型又は排気制御 DID区間の有無C = 02 有り				運搬距離(7)J = 0 運搬距離(8)K = 03 1.5km以下 運搬距離(9)L = 0 運搬距離(10)M = 0 運搬距離(11)N = 0 運搬距離(12)O = 0 運搬距離(13)P = 0 運搬距離(14)Q = 0			
運搬距離(1)D = 0 運搬距離(2)E = 0 運搬距離(3)F = 0 運搬距離(4)G = 0 運搬距離(5)H = 0 運搬距離(6)I = 0							

富谷市

第4号 SPG2102010 J01		掘削 1m3 当たり単価表			土砂 オブカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満 II-1-②-7		
名称・規格・条件	単位	数	量	単 価	金 額	雑	摘 要
バックホリ(クローラ型)損料 標準型・超低騒音型・排対型(第3次基準値) 山積0.8m3(平積0.6m3)	供用日						
運転手(特殊)	人						
軽油 ハトロール給油 1.2号	L						
施工パッケージ単価	m3		1				
合 計	m3		1				
土質A = 01 土砂 施工方法B = 01 オブカット 岩質C = 0 押土の有無D = 02 無し 障害の有無E = 01 無し				施工数量F = 03 5,000m3未満 火薬使用G = 0 破砕片除去の有無H = 0 集積押土の有無I = 0			

富谷市

名称・規格・条件		単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要	
区画線設置(溶融式)昼間 素雪無 破線15cm 制約無		m	1,000									
トラフィックペイント3種1号 ビーズ15~18 白 溶融型		kg	390									
ガラスビーズ 0.106~0.850mm		kg	25									
接着用プライマー-区画線用		kg	25									
軽油 ハトロー給油 1.2号		L	49									
諸雑費		%	5									
合 計		m	1,000									
単位当り		m	1									
規格・仕様区分A = 05 破線 15cm 時間的制約B = 01 なし 施工区分C = 01 昼間施工 排水性舗装への施工D = 01 排水性舗装の施工無し 施工場所E = 01 供用区間							塗料種別F = 01 3種1号 白 塗装厚G = 02 1.0mm 舗装種別H = 01 アスファルト 週休2日補正I = 01 週休2日補正無し					

富谷市

名称・規格・条件		単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
区画線設置(溶融式)昼間 素雪無 セアラ30cm 制約無		m	1,000								
トラフィックペイント3種1号 ビーズ15~18 白 溶融型		kg	780								
ガラスビーズ 0.106~0.850mm		kg	50								
接着用プライマー-区画線用		kg	50								
軽油 ハトロー給油 1.2号		L	84								
諸雑費		%	5								
合 計		m	1,000								
単位当り		m	1								
規格・仕様区分A = 11 セアラ 30cm 時間的制約B = 01 なし 施工区分C = 01 昼間施工 排水性舗装への施工D = 01 排水性舗装の施工無し 施工場所E = 01 供用区間							塗料種別F = 01 3種1号 白 塗装厚G = 02 1.0mm 舗装種別H = 01 アスファルト 週休2日補正I = 01 週休2日補正無し				

富谷市

第12号 S650200 J05		区画線設置工(標準単価) 熔融式 1000m当たり単価表				供用区間 矢印・記号・文字 15cm換算 昼間施工 時間的制約なし VI-1-①-1	
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
区画線設置(熔融式) 昼間 寒害無 矢印・記号・文字 制約無	m	1,200					
トラフィックペイント3種1号 ビーズ15~18 白 熔融型	kg	468					
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	kg	30					
接着用プライマー区画線用	kg	30					
軽油 ハットロム給油 1.2号	L	132					
諸雑費	%	5					
合 計	m	1,000					
単位当り	m	1					
規格・仕様区分A = 13 矢印・記号・文字 15cm換算 時間的制約B = 01 なし 施工区分C = 01 昼間施工 排水性舗装への施工D = 01 排水性舗装の施工無し 施工場所E = 01 供用区間			塗料種別F = 01 3種1号 白 塗装厚G = 02 1.0mm 舗装種別H = 01 アスファルト 週休2日補正I = 01 週休2日補正無し				

富谷市

第13号 S018060 J01		スビラゲ運転 1日当たり単価表				路盤再生用 深さ0.4m×幅2.0m	
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
運転手(特殊)	人						
軽油 ハットロム給油 1.2号	L	131					
スビラゲ損料 路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	供用日						
諸雑費	式	1					
合 計	日	1					
規格A = 03 路盤再生用 深さ0.4m×幅2.0m 運転労務数量B = 1			燃料消費量C = 131 機械損料数量D = 1.21				

富谷市

名称・規格・条件		単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
運転手(特殊)		人									
軽油 ハトロム給油 1.2号		L	44								
モータレーダ損料 土工用・排出ガス対策型(第1次基準値) プレート幅3.1m		供用日									
諸雑費		式	1								
合 計		日	1								
規格A = 02 油圧式 排出ガス対策型プレート幅3.1m 運転労務数量B = 1					燃料消費量C = 44 機械損料数量D = 1.47						

富谷市

名称・規格・条件		単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
運転手(特殊)		人									
軽油 ハトロム給油 1.2号		L	29								
ロードローダ損料 ワカダ・排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10~12t 締固め幅2.1m		供用日									
諸雑費		式	1								
合 計		日	1								
規格A = 02 ワカダ・排対型(1次) 10~12t 運転労務数量B = 1					燃料消費量C = 29 機械損料数量D = 1.59						

富谷市

第16号 S028070 J01		タイヤ運転(賃料) 1日当たり単価表			8~20t(排対型含む)	
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
運転手(特殊)	人					
軽油 ハンドル給油 1.2号	L	26				
タイヤ[普通型] 運転質量8~20t	日					
諸雑費	式	1				
合 計	日	1				
規格A = 01 8~20t(排対型含む) 運転労務数量B = 1			燃料消費量C = 26 賃料数量D = 1.62			

富谷市

第17号 S101010 J02		建設機械の貨物自動車等による運搬 1車・回当たり単価表			建設機械類運搬(15t以上) 深夜早朝割増無 1-2-②-13	
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
基本運賃料金・諸料金	台	1				
合 計	車・回	1				
特大品割増(C1) C = 03 建設機械類運搬(15t以上) 深夜早朝割増(C4) E = 01 深夜早朝割増無			運搬距離(km)G = 20 運搬される機械の適用区分J = 01	賃料適用機械		

富谷市

第18号 S101010 J03		建設機械の貨物自動車等による運搬 1車・回当たり単価表				建設機械類運搬(15t以上) 深夜早朝割増無 I-2-②-13	
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
基本運賃料金・諸料金	台	1					
合 計	車・回	1					
特大品割増(C1)C = 03 建設機械類運搬(15t以上) 深夜早朝割増(C4)E = 01 深夜早朝割増無							
			運搬距離(km)G = 20 運搬される機械の適用区分J = 01	賃料適用機械			

富谷市

単 価 一 覧 表

名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
舗装版切斷 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m					第1号
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下 積込有り	m ²					第2号
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離1.5km以下	m ³					第3号
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m ³ 未満	m ³					第4号
土砂等運搬 標準 ハック材山積0.8m ³ (平積0.6m ³) DID区間有り 運搬距離14.0km以下	m ³					第5号
路上路盤再生工 混合深さ20cm以下 養生工無し	m ²					第6号
表層(車道・路肩部) 3.0m超 50mm 各種(2.30以上2.40t/m ³ 未満)アスコ	m ²					第7号
基層(車道・路肩部) 3.0m超 50mm 各種(2.20以上2.30t/m ³ 未満)アスコ	m ²					第8号
区画線設置工(標準単価)溶融式 供用区間 実線 15cm 昼間施工 時間的制約なし	m					第9号
区画線設置工(標準単価)溶融式 供用区間 破線 15cm 昼間施工 時間的制約なし	m					第10号

富谷市

単 価 一 覧 表

名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
区画線設置工(標準単価)溶融式 供用区間 セグメント 30cm 昼間施工 時間的制約なし	m					第11号
区画線設置工(標準単価)溶融式 供用区間 矢印・記号・文字 15cm換算 昼間施工 時間的制約なし	m					第12号
スタビライザ運転 路盤再生用 深さ0.4m×幅2.0m	日					第13号
モータレーザ運転 油圧式 排出ガス対策型プレート 3.1m	日					第14号
ポートロー運転 マカダム・排対型(1次) 10~12t	日					第15号
タイヤロー運転(賃料) 8~20t(排対型含む)	日					第16号
建設機械の貨物自動車等による運搬 建設機械類運搬(15t以上) 深夜早期割増無	車・回					第17号
建設機械の貨物自動車等による運搬 建設機械類運搬(15t以上) 深夜早期割増無	車・回					第18号
アスファルト合材 ポリマー改質As密粒度20	t					
残土処分費	m ³					

富谷市

積 算 情 報 表

項 目	内 容	項 目	内 容
積算区分	実施	一般管理費補正率	0%
変更回数	当初	契約保証費区分	3 計算区分 3
積算基準パターン	34:令和2年度国交省諸経費改訂(消費税10%)	契約保証費率	金銭的保証
施行主体名	富谷市	夜間補正区分	補正なし
設計書名(1行目)	市道宮沢根白石線舗装修繕工事(第1号)	夜間補正率	0%
設計書名(2行目)		冬期間補正区分	補正なし
設計書名(3行目)		冬期間補正率	0%
工事箇所	富谷市 明石台 地内	昼夜間補正区分	補正なし
路線・河川名	市道宮沢根白石線	昼夜間補正率	0%
工事番号		着工年月日	令和 年 月 日
設計年度	令和03年度	竣工期限	令和 年 月 日
設計年月日	令和03年07月05日	工期開始	令和 年 月 日
単価適用日付	令和03年06月01日(32)	工期終了	令和 年 月 日
単価適用地区	01 地区	工期日数	0日
適用率(工種区分)	07 舗装工事	工種名	舗装工事
間接工事費の被災地補正	3:復興係数(平成26年)	請負人	
前払支払率	40%		
共通仮設費補正	市街地(DIDD補正)(1)		
現場環境改善費	計上しない		
現場環境改善費地域			
現場管理地域補正	市街地(DIDD補正)(1)		
現場管理費率の補正(施工時期)	なし		

富谷市

— 特記仕様書 —

施工条件明示書

工事番号	工事名	令和3年度 市道宮沢根白石縦舗装修繕工事(第1号)	事務所名	施工方法	備考			
項目	条件	内 容		施工方法	備考			
1 共通仕様書の適用		本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。						
2 工程関係								
(1) 関連工事による施工時期の調整	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>						
(2) 施工時期による制限	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>						
(3) 関係機関等との協議の未成立	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	所轄警察署長との道路法第80条の協議	車線規制(片側2車線を1車線に規制)				
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>						
3 公害対策関係								
(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	低騒音建設機械の使用	AM9:00～PM5:00				
4 安全対策関係								
(1) 交通安全施設等の指定	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>						
(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>						
5 排水工関係								
(1) 濁水、湧水処理のための特別な対策の必要性	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>						
6 建設副産物対策関係								
(1) 共通事項		下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。						
(2) 建設発生土情報交換システム登録対象工事	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	土量、土質、土工期等に変更が生じた都度、当該システムのデータ更新を行うこと。 (搬出量で1,000m ³ 以上、搬入量で500m ³ 以上)					
(3) 建設発生土以外の 建設副産物	処理・処分	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	処理・処分する場所	処理・処分方法	距離	制限時間	
				黒川郡大郷町東成田板谷西山39-1 棚倉産業園仙台北営業所	残土処理	12.6 km	時 分 ~ 時 分	
				コングリート塊		km	時 分 ~ 時 分	
				アスファルト塊	富谷市上桜木2-5-1 世紀東急工業 仙台混合所	中間処理・再生資源化施設	1.2 km	時 分 ~ 時 分
				建設発生木材			km	時 分 ~ 時 分
建設汚泥			km	時 分 ~ 時 分				
その他			km	時 分 ~ 時 分				
工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。								
(4) 再生材の利用	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	種類・数量	再生粗粒度AS20				
7 工事現場のイメージアップ								
	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	内容 イメージアップの具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。					
8 品質証明	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9によること。					
9 標準的な設計図書による発注方式	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-13によること。					
10 資材関係								
(1) 生コンクリート		生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。						
(2) 宮城県グリーン製品の利用 「宮城県グリーン製品」利用推進指針によること。	必須	1. 暗渠排水管、汚泥醗酵肥料、植生基盤材等、及び視線誘導標は、宮城県グリーン製品を用いること。						
	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	2. 盛土材、埋め戻し材					
	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	3. その他()					
	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	4. その他()					
(3) 現場吹付法砕工		吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm ² 以上とする。						
11 その他								
(1) 舗装の下請制限について	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	土木工事共通特記仕様書第1編1-1-3によること。					
(2) 「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における 工事費内訳調査」の対象の有無	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	本工事は「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンプ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。					
(3) 三者会議の対象の有無	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	本工事は、工事着手前に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-5によること。					
(4) 貸与資料の有無	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	本仕様書によるもののほか工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料()					

特記事項

項 目	内 容	施 工 方 法	備 考
1 追加事項1			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
2 追加事項2			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
3 追加事項3			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
4 追加事項4			
(1) 追加 交通誘導員について	58人計上している。		
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
5 追加事項5			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
6 追加事項6			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
7 追加事項7			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
8 追加事項8			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
9 追加事項11			
(1) 追加 路上路盤再生工法の配合試験	配合試験については、費用を計上していないが実施することとする。 なお、費用については、別途協議することとする。		
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			

長寿命化アスファルト舗装工 特記仕様書

第1条 適用

本特記仕様書は、令和3年度 市道宮沢根白石線舗装修繕工事(第1号)に適用する。
舗装修繕に用いる長寿命化アスファルト舗装は、従来のポリマー改質アスファルトより高い疲労抵抗性を有する長寿命化アスファルト混合物による舗装とする。
ここに明記なき事項は、土木工事共通仕様書による。

第2条 材料

2-1 長寿命化舗装用ポリマー改質アスファルト

長寿命化アスファルト混合物に用いるポリマー改質アスファルト（以下「長寿命化舗装用ポリマー改質アスファルト」という。）は、表2-1に示す基準値を満足するプレミックスタイプのものでなければならない。

比較のためポリマー改質アスファルトⅡ型の代表性状及び基準値を併記する。

表2-1 長寿命化ポリマー改質アスファルトの基準値

試験項目		基準値	改質Ⅱ型 [参考]
針入度(25℃)	1/10mm	80 以上	52(40以上)
軟化点	℃	75.0 以上	58.5(56.0以上)
引火点	℃	280 以上	334(260以上)
薄膜加熱質量変化率	%	0.6 以下	0.03(0.6以下)
薄膜加熱後の針入度残留率	%	65 以上	80.8(65以上)
粗骨材のはく離面積率	%	5 以下	8(-)
$G \cdot \sin \delta (25^\circ\text{C})^{*1}$	Pa	4.0×10^5 以下	$16.0 \times 10^5 (-)$
※1 ダイナミックシアレオメータ(DSR)試験方法 1)試験温度:25℃, 2)平行円盤直径:8mm, 3)試料厚:1mm, 4)周波数:10rad/s, 5)ひずみ量:1%			

注) ①密度(15℃)は試験表に付記すること

②最適混合温度範囲及び最適締固め温度範囲を試験表に付記すること

③試験方法は「舗装調査・試験法便覧(日本道路協会)」に準ずる

2-2 長寿命化アスファルト混合物

長寿命化アスファルト混合物の種類は、表2-2によるものとする。

表 2-2 長寿命化アスファルト混合物

適用する層	混合物種	施工厚
表層	密粒度アスファルト混合物(20)	4 cm以上

(1) 混合物性状

長寿命化アスファルト混合物の性状は、表 2-3 に示す基準値を満足するものでなければならない。

表 2-3 長寿命化アスファルト混合物の基準値

試験	項目	基準値
マーシャル試験	空隙率	% 3 ~ 6
	飽和度	% 70 ~ 85
	安定度	kN 4.9 以上
	フロー値	1/100cm 20 ~ 40
	残留安定度	% 75 以上
ホイールラッキング試験	動的安定度(DS)回/mm	3,000 以上

注) マーシャル突固め回数は両面各75・50回とする

(2) 疲労抵抗性の評価

長寿命化アスファルト混合物の疲労抵抗性は、曲げ疲労試験により評価する。

試験条件は表 2-4 のとおりとし、疲労破壊回数がポリマー改質アスファルト II 型を用いた混合物と比較して100倍以上であることを技術資料等の試験結果で確認する。

表 2-4 曲げ疲労試験条件

項目	条件
載荷方法	両端固定2点載荷
供試体寸法	4×4×40 cm
スパン	30 cm
試験方法	ひずみ制御
試験温度	15 °C
載荷周波数	5 Hz
試験ひずみ	400 μ
試験槽	水冷方式
載荷波形	サイン波

試験混合物は、代表的な混合物（密粒度アスコン(13)等）で照査する。

(3) 等値換算係数の設定

長寿命化アスファルト混合物の等値換算係数は、「舗装設計便覧(平成18年度)P81」に則り、室内試験から得られた値を評価して道路管理者が設定したものをを使用することとし、その値は表2-5のとおりとする。

工事で使用する長寿命化アスファルト混合物の等値換算係数は、技術資料等で確認することとし、舗装構造の検討における等値換算係数はこの確認した値を使用することとする。

表2-5 長寿命化アスファルト混合物の等値換算係数

混 合 物 種	等 値 換 算 係 数
密粒度アスファルト混合物(20)	1.7

第3条 舗設

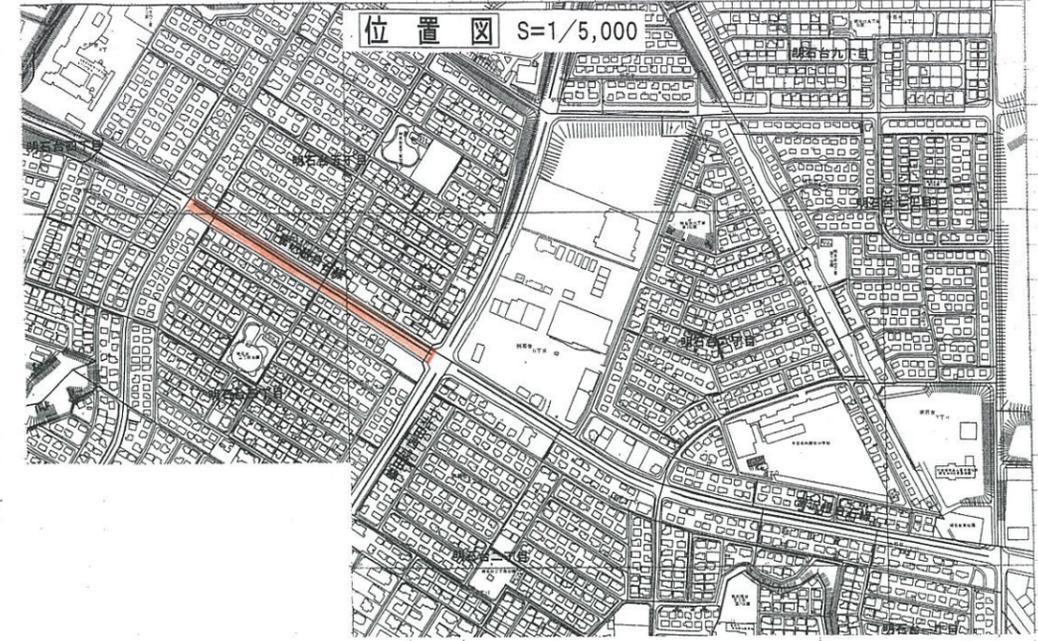
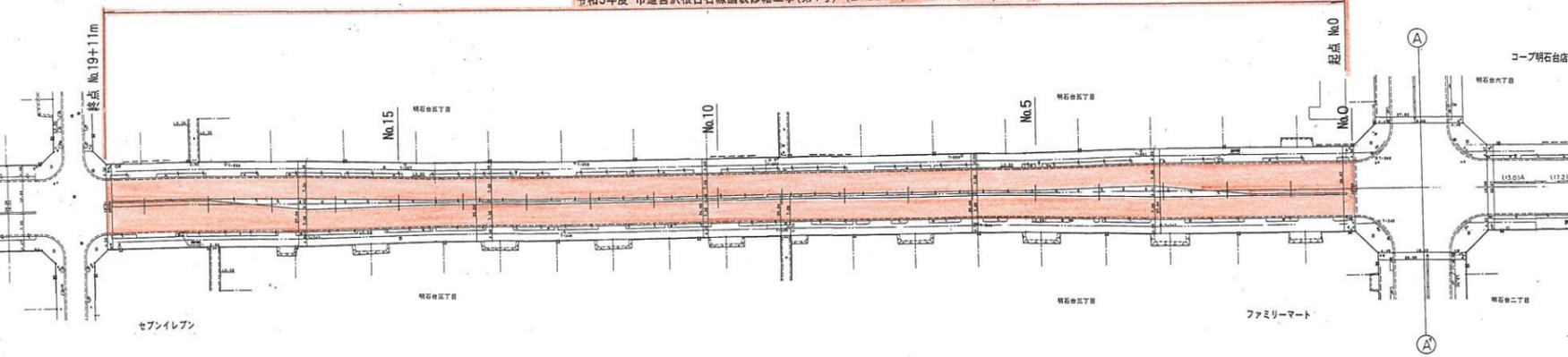
舗設は共通仕様書に準じて行うものとするが、長寿命化アスファルト混合物の敷きならし及び転圧の温度は、表3-1に示す温度を目安に行うものとする。

表3-1 長寿命化アスファルト混合物の舗設温度

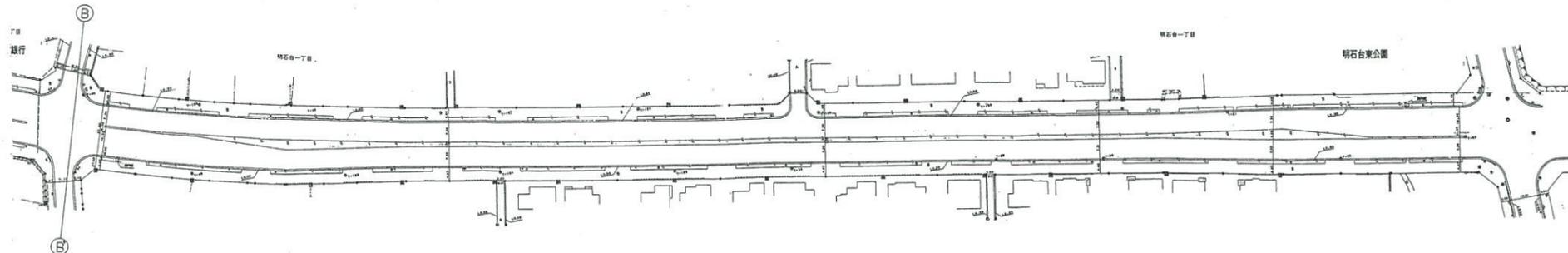
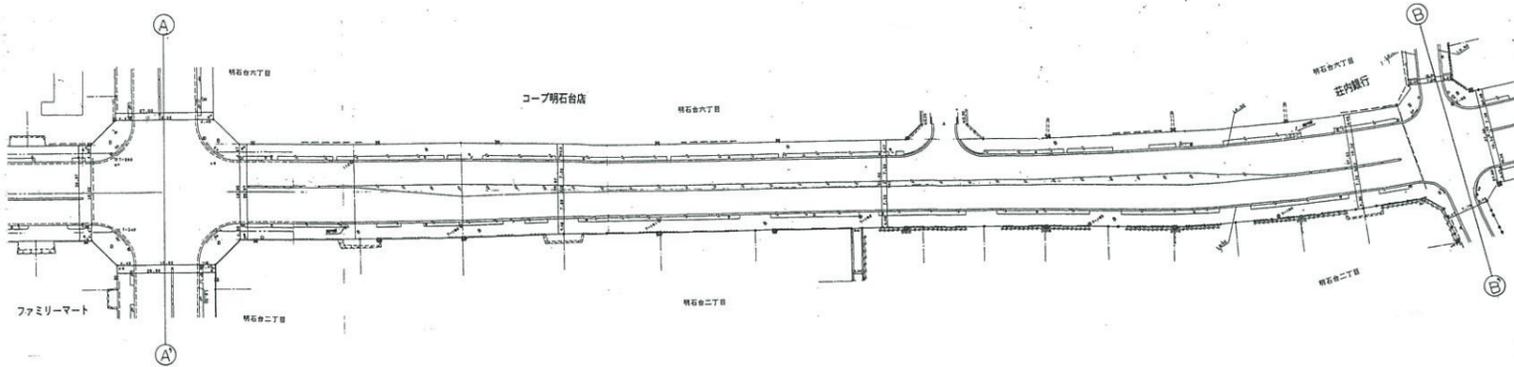
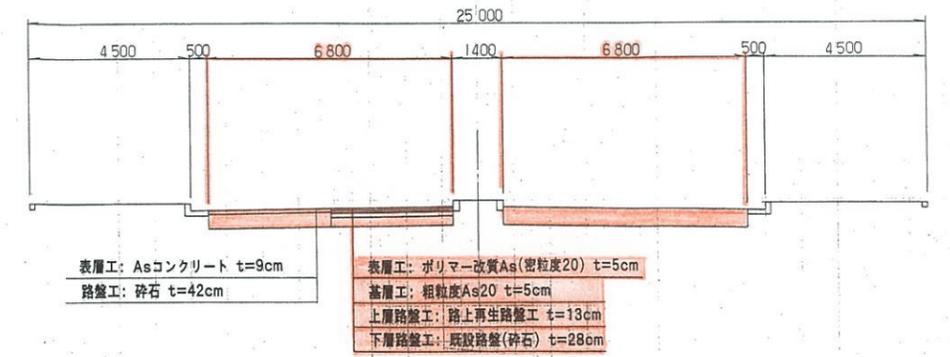
施工条件	敷きならし温度	℃	160以上
	初転圧温度	℃	140以上
	二次転圧温度	℃	100以上
	仕上げ転圧温度	℃	80未満

平面図 S=1/1,000

令和3年度 市道宮沢根白石線舗装修繕工事(第1号) (L=391m、W=25m、A=5,310㎡)



標準断面図 S=1/100



設計条件 (令和3年度 宮沢根白石線舗装修繕工事(第1号))	
路線名	市道宮沢根白石線
舗装設計期間	20年
交通区分	N5
舗装計画交通量(台/日・方向)	250以上1,000未満
疲労破壊輪数(回/10年)	2,000,000
信頼度	90%
設計CBR	4.0
目標TA	26.0
補修後TA	5cm+1.7+5cm+1.0+13cm+0.65+28cm+0.15=26.15
舗装厚合計	5cm+5cm+13cm+28cm=51cm

路線名	市道 宮沢根白石線		
箇所	富谷市 明石台 3丁目	地内	
工事名	令和3年度 市道宮沢根白石線舗装修繕工事(第1号)		
図名	図示	位置	
縮尺	図示	建設課長	
設計者		図番	